

奥中 CS だより

～ 学校と地域がつながり、地域と共に歩いていく ～ 第2号

第2回学校運営協議会

学校行事運営のためにCSとしてできること

- 出席者・委員長：佐藤 和信 様 ・副委員長：三浦 敏幸 様
・坂本 淳弥 様 ・木下 広 様 ・藤谷 仁史 様
・大須田 洋介 様 ・小山内 真紀子 様
・能代 晶子 様（教育委員会） ・藤田 弘太郎 様（教育委員会）
・松島 甲（校長） ・村田 真一（教頭） 会員全員出席

生徒数が毎年減少し、今年度は37名。現在の所、体育祭や文化祭では、これまでの伝統を引き継ぎ、企画・準備・運営・片付けまで生徒主体で行ってきています。しかし、来年度は青苗小よりの入学者が0人（小6がいない）になるなど、今後、生徒数減少にますます拍車がかかり、今まで通りの行事運営が難しくなってくることは明らかです。そこで、今回の学校運営協議会では、CSとして学校行事運営のためにできることについて熟議を行いました。

〈熟議の主な内容〉

（1）体育祭について

- ・今年度、CSの方々が仮設トイレの貸出の依頼・運搬を地域の方々をお願いし地元の企業の協力をいただき、設置することができた。今後もCSの活動として継続していく。
- ・生徒数減少を考慮し、地域住民参加種目を増やしても良いのではないだろうか。

（2）文化祭について

- ・文化祭パレードで使用する夜行チョッキ、スター棒についてCSの動きを通し、借用する。
- ・文化祭パレードの踊り披露時、中学生の顔が見えやすくなるような会場状況をつくられるように、CSとしても協力体制をとり、働きかけを行う。
- ・生徒数減少を考慮し、地域住民が参加することなども一考しても良いのではないだろうか。

今回の会議も1時間近くに渡り、これからの学校行事などについて、多くの意見をいただきました。こうした意見をいかし、「地域と共にある奥尻中学校」を推進していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。